

ウィークが始まり、観光客らでにぎわう金沢
午後、金沢市丸の内(川上智世撮影)

首相が鳩山由 合に鳩山由 首相を辞 にも7・3 4%で、初 になった。

首相が小沢氏の続投 支持したことを含め 「政治とカネ」問題へ の鳩山政権の対応や、 普天間問題の迷走など が11・5%と初めて二 けたに寄せた。最多は 国民が強い不満を持

政 党 支 持 率 で 民 主 党 は前より6・2%減 の24・1%。自民党が 増の18・7%にとど まる一方、みんなの党 が11・5%と初めて二 けたに寄せた。最多は 国民が強い不満を持

参院選で「民主党が 単独過半数を占めない 方がよい」が56・1 %、「占めた方がよ 例代表を合わせ、改選 定数二二一に対し三百

七月十一日投開票の日 程で行われる方向だ。 二十九日現在の本紙の 調べでは、都道府県単 位の四十七選挙区、比 例代表を合わせ、改選 定数二二一に対し三百

北陸大 理事長の親族料亭

学内食堂で商品製造

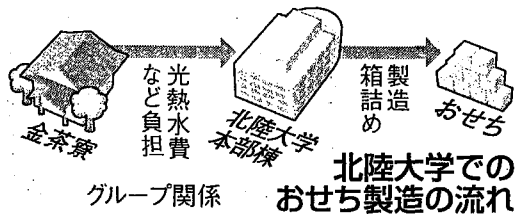
文科省が調査 使用料は支払い

金沢市太陽が丘一の 学校法人北陸大学(北 元喜朗理事長)の学内 で毎年十二月末、北元 理事長の親族が経営す る金沢市内の料亭のお

中、ファミリー企業の 出た。●関連●面 ために大学施設を貸し 出すことに、識者から は「私物化」との批判 の料亭旅館「金茶寮」 登記簿によると、取締 役には北元理事長の父

大学私物化批判も

作業には金茶寮の従 業員のほか学生アルバ イトを動員。箱詰めさ



金茶寮 1933 (昭和8)年、 加賀藩元家老 の別邸を譲り 受け創業。犀川沿いの 斜面に建ち、約100 0坪の庭園を抱え、5 つの離れが点在する。 歴代首相や皇族が利用 したことも知られ

理事会が機能不全 教育評論家・尾木直樹氏の話 「大学の施設を使う際、 グループ企業に便宜を図って いるとすれば私物化に当たり、 理事会のチェック機能が 問題になる。それができてい ないなら、自浄作用がなく、 機能不全に陥っているとしか 思えない。文科省にも監督責 任があると思う」

不便があれば問題 文科省私学部参事官付の話 「一般論として、外部の団 体、企業に大学の施設を貸し 出すことはある。ただ、おせ ちの製造作業中、食堂への立 ち入りを規制し、学生たちか ら食事の機会を奪っていると すれば問題がある。大学側に 事実関係を確認したい」

親へから親族が名を連 ねる。 大学関係者や内部資 料によると、おせちは 例年、太陽が丘キャン パス本部棟にあるカフ エテリア形式の食堂 で、冬季休業と重なる 時期に製造。食堂は数 百人を収容できる規模 で、金茶寮側は広さや 設備が整っているため 利用してきたとして いる。大学には施設使用 料や光熱水費を支払っ ているという。

製造個数や売り上げ 規模について、金茶寮 側は明らかにしていな いが、単価は数万円に なるという。金茶寮の おせちは高級品として 知られる。

大学でのおせち製造 について、文科省は「聞 いたことがない」とし た上で、学生や教職員 に影響がないか事実関 係を確認している。 教職員の一入は「冬 だいており、便宜を図 ったというところはな い。学生たちに食事の 不便はかけていない」 と反論している。

北元理事長に代わり 取材に応じた大学側は 「光熱水費などはいた ったというところはな い。学生たちに食事の 不便はかけていない」 と反論している。

区への複数擁立もほぼ 終わり、大半の選挙区 で与野党の戦いの構図 が固まってきた。●予 想顔ぶれと情勢● 面、関連●面 政権交代後、初の大

を含めた鳩山政権の実 績に審判を下す。鳩山 由紀夫首相や小沢一郎 民主党幹事長の「政治 とカネ」の問題、米軍 普天間飛行場移設問題 への対応などが争点。

民主党は参院選への 比例代表導入後初めて 一党として百人を超え る候補を擁立。単独過 半数の獲得を目指す が、支持率低迷で展望 目標に掲げる。新党改

全員当選と東京での議 席獲得に力を入れる。 みんなの党は十七人 が名乗りを上げ、最終 的に五十人規模の擁立 を模索、二けた当選を 目標に掲げる。新党改



1	2	3	4	5	6	木
17.8	19.8	23.10	21.12	21.12	20.12	
17.8	19.8	23.10	21.12	21.12	20.12	
17.8	19.8	23.10	21.12	21.12	20.12	
17.7	20.7	24.10	22.12	21.12	21.12	
17.8	20.7	24.10	22.12	21.12	21.12	

3	4	5	6	木
降水確率 (%)				
最高気温				
最低気温				
のち時々				
降水量				
5mm以上				
5mm未満				

州府で二十九日